

開志国際 優勝

全国高校バスケット 県勢初

88
—
71
福岡第一に夏の雪辱

バスケットボールの全国高校選手権(ウィンターカップ)は最終日の29日、東京体育館で男子決勝を行い、初めて決勝に駒を進めた開志国際が、福岡第一を88―71で下し、県勢初の頂点に立った。

今夏の全国高校総合体育大会決勝と同一カード

となった決勝。開志国際は序盤、武藤俊太朗選手が得点を決めたが、相手にも3点シュートや速攻から得点を許した。それでも平良宗龍選手の連続3点シュートで逆転。47―36で折り返すと、後半は一進一退の攻防が続いた。終盤、介川アンソニー翔選手らが勝負どころで加点。最後まで粘り強く守り、逃げ切った。

▽男子決勝

開志国際 88
24 17 25 22
23 12 9 27
71 福岡第一

(長野)に快勝した。28日の準決勝は藤枝明誠(静岡)との最終盤までもつれる接戦を制し、決勝進出を果たした。



ドリブルで攻め込む平良宗龍選手(中央)ら、開志国際
の選手たち。29日、東京体育館